

# 適塾かわら版

巻三

## 大阪大学適塾記念センターとは

2011年、大阪大学創立80周年を機に適塾記念センターが設立されました。適塾運営・大阪学・オランダ学の三部門を擁し、適塾建物および歴史資料の維持管理、近世以降の大阪の学問・文化や日蘭関係史の研究を行うほか、阪大の源流の一つである適塾を顕彰するため、見学会・展覧会・講演会等の様々な社会教育事業を展開しています。



### 開催したイベント「平成三〇年度

### ◎適塾特別展示「戊辰戦争〜西南戦争をめぐる適塾関係者たち〜軍制と医療から〜」

（於適塾・5/29〜6/10）  
大島圭介・大村益次郎・佐野常民・高松凌雲・緒方惟準等、戊辰・西南両戦争への関わりを紹介しました。戊辰勃発から150年を機会に、戦争と平和について見つめ直す機会となりました。



### ◎講演会

#### 適塾講座「近代日本の軍事と軍都・大阪」（於中之島センター）

猪飼隆明「西郷隆盛と適塾をめぐる人々」（9/20）  
小田康徳「軍都・大阪の形成過程」（10/18）  
横山篤夫「大阪の戦中・戦後」（11/15）

#### 公開講座「フェスタ」（於大阪府庁・11/7）

三善英知（医）「肝臓の病気〜脂肪肝は実は怖い〜」

#### 適塾記念講演会（於中之島センター・12/10）

永田靖（文）「演劇のアジア的転回〜ポスト・グローバリゼーション時代に向けて〜」  
土井健史（薬）「二酸化塩素が世界を変える〜社会に対して多面での貢献が期待〜」



### 賞

- 適塾関係資料画像データベース公開  
<https://www.archive.tekijuku.osaka-u.ac.jp>
- 公式 Facebook 開設  
<https://www.facebook.com/TekijukuCommemorationCenter/>
- 図録「新版 緒方洪庵と適塾」発刊  
定価 900円＋税  
購入・注文は適塾窓口、全国の書店、アマゾンにて

## 適塾記念会 入会のスゝメ

適塾記念会は緒方洪庵・適塾およびその関係者の業績を顕彰し、大阪の学問・文化の伝統を発信することを目的に、1952年に創設されました。また適塾建物や適塾関係資料等の文化財保護活動にも取り組んでいます。適塾記念会に入会し、これらの活動にご支援・ご協力をお願いします。

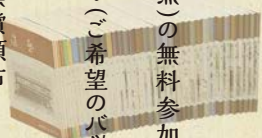


会費	普通会員	年間1口	2,000円
賛助会員	年間1口	10,000円	

いずれも複数年・複数口での申し込み可。  
普通会員5年間（1万円）がおスゝメ！

### 会員特典

- 特典① 適塾の参観料がいつでも無料に！
  - 特典② 適塾見学会（年2回、前ページ参照）の無料参加が可能に！
  - 特典③ 会誌『適塾』（年刊）を無料でお届け（ご希望のバックナンバーも）！投稿資格もあり！
  - 特典④ 『大阪大学適塾記念センター所蔵 適塾関係資料目録』を希望者に無償頒布！
  - 特典⑤ 適塾で販売する図録『新版 緒方洪庵と適塾』絵葉書が1割引きに！
  - 特典⑥ イベントの案内を随時お届け！
- ※詳細については大阪大学適塾記念センターHPをご覧ください。



# 適塾人物かみみ

## 其ノ三 橋本左内

生没 天保五年(安政六年)1834~59  
出身 福井城下(福井市春山)

蘭方医 思想家 政治家

福井藩奥外科医の長男として誕生し、15歳で『啓発録』を著すなど早くから才能を発揮した。翌年に適塾に入門し、在塾中は深夜に乞食小舎に出かけ実地医療の研鑽を積んだという。その後、帰郷して種痘に出精し、江戸遊学で洋学一般の知識を深めた。さらには福井藩主・松平慶永(春嶽)の幕政改革に重用され開国論を唱え、將軍継嗣問題で一橋慶喜擁立派の中心的役割を担った。そのため紀州派の大老・井伊直弼の弾圧(安政の大獄)によって処刑された。才気あふれる左内の早過ぎる死は、西郷隆盛はじめ多くの人々に惜しまれた。



出典：国立国会図書館  
「近代日本人の肖像」

「稚心を去る」「氣を振う」「志を立てる」  
「学に勉める」「交友を振ぶ」(『啓発録』1848)

# 適塾見どころ

## 其ノ三 西中庭



適塾とは蘭方医・緒方洪庵(1806-63)が天保9年(1838)、大坂に開いた蘭学塾です。全国から千名にも上る塾生を集め、大村益次郎・福沢諭吉・長与専斎をはじめ、日本の近代化に貢献する人材を輩出しました。北浜に残る適塾建物は現存唯一の蘭学塾遺構として、また近世大坂を代表する町屋建築としても貴重で、昭和16年(1941)に国史跡、同39年に国の重要文化財に指定されています。ここでは同55年から一般公開されている適塾の見どころについて紹介していきます。

### 二つの棟をつなぐ中庭！

現存する適塾の建物は、緒方洪庵が弘化2年(1845)に商家を買取り取ったものです。教室などに使用された表(店舗)の棟と、客座敷などがある奥(住居)の棟からなります。二つの空間を行き来するには、この西中庭と東中庭の縁側を必ず通ります。玄關土間から西中庭の敷石に沿って進んでいくと、塾生がご飯を食べた台所に抜けます。

### 井戸端で解剖実験！

福沢諭吉の自伝『福翁自伝』では、この西中庭の井戸のそばで、塾生が豚の頭の解剖やアンモニアの製造を行っていた様子が描かれています。あまりの臭さに女中たちからは「胸が悪くてご飯が食べられない」と訴えられ、夕方湯屋へ行くと、着物が臭くて犬に吠えられながらも、必死に実験をしていました。

### かつてはトイレも！

緒方家がこの建物を賃していた大正末年には、西中庭の西北隅の一角を板塀で囲い、大・小両和式便所が設けられました。しかし、1976(昭和51)年の解体修復工事では、洪庵時代の適塾の姿に復原されたので、その痕跡は残っていません。

### 適塾参観案内

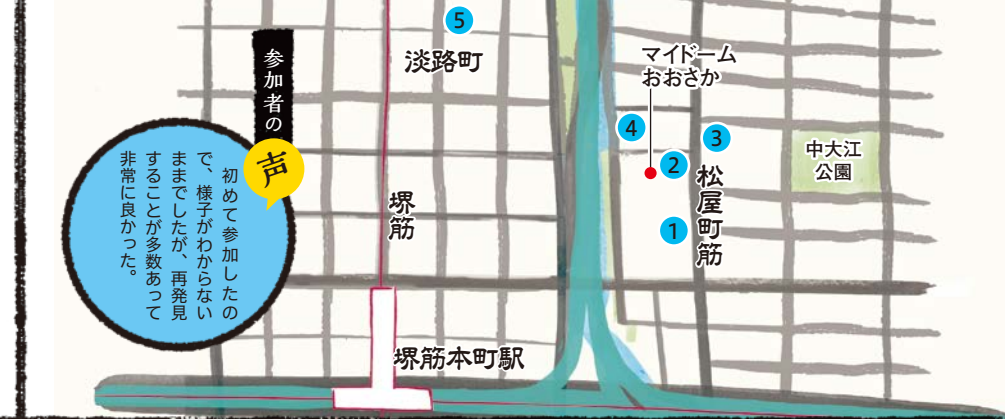
- 【最寄り駅】京阪淀屋橋駅・北浜駅、地下鉄淀屋橋駅下車 徒歩5分
- 【開館時間】午前10時～午後4時
- 【休館日】月曜日(国民の祝日は開館) 国民の祝日の翌日(土・日・祝は開館) 年末年始(12月28日～1月4日) 2019年4月8日～6月3日(災害復旧工事のため)
- 【参観料】一般 260円 高校・大学生等 140円 中学生以下 無料 ※適塾記念会会員および阪大生は無料!
- 住所：大阪市中央区北浜3丁目3-8 電話：06-6231-1970
- ※西中庭は立入禁止ですが、玄關土間から覗くことができます。

荷物を預けて快適に見学できます。 日・英・中・韓の4カ国語を選択できる音声ガイドを用意しています。(無料) 海外からの研究者や留学生など、お客様の案内にも最適です。

# 平成三〇年戊戌 適塾見学会道程地図

## 夏季見学会 北浜周辺

- 五代友厚・土居通夫・稲畑勝太郎銅像**  
明治11年(1878)、五代友厚は大坂商法会議所を設立した。これを前身とする大阪商工会議所の南側に、歴代会頭の銅像が設置されている。戦時中は金属回収に供出され、戦後に再建された。  
大阪市中央区本町橋2
- 大坂西町奉行所跡**  
元和5年(1619)に設置された江戸幕府の遠国奉行の一つで、享保9年(1724)の大火後にここに再建された。当時は初代大坂府庁(1872)、府立大阪博物館(1875)、大阪府立商品陳列所(1917)と変遷し、現在は「マイドームおおさか」が建つ。  
大阪市中央区本町橋2
- 牢屋敷跡**  
江戸時代、与左衛門町にあった未決拘置所。処刑たき入れ墨などの身体刑、拷問もここで行われた。松屋町牢屋、松屋町本牢ともいわれ、17世紀中期からの地であった。  
大阪市中央区糸屋町
- 重建懐徳堂跡**  
明治2年(1869)に閉校した江戸時代の学塾・懐徳堂は、「天声人語」を名付けた西村天因等を中心に、大正5年(1916)に復興した(重建懐徳堂)。大阪大空襲により焼失したが、文庫は大阪大学に引き継がれた。  
大阪市中央区本町橋1
- 泊園書院跡**  
儒学者の藤澤東峯が開いた泊園塾はその死後に閉塾されたが、子の南岳が明治6年(1873)に泊園書院を復興し、同9年にここに移した。その後、泊園書院は大阪市南区南船場町に移転した。  
大阪市中央区淡路町1



### 参加者の声

初めて参加したので、様子がわからないままでしたが、再発見することが多数あって非常に良かったです。

## 秋季見学会 大阪城周辺

- 大阪府病院・医学校跡**  
明治2年(1869)3月大阪府が大福寺(本町)に仮病院・医学校を設立した。7月、大阪府病院が鈴木町代官屋敷に開院し、大阪府医学校病院が開院した。院長は緒方洪庵の嗣子の推挙が務めた。  
大阪市中央区法円坂2
- 大村益次郎殉難碑**  
戊辰戦争で新政府軍を指揮した大村益次郎は、兵制改革を進めるなか明治2年に京都で襲われた。オランダ人医師ポドインと緒方推挙により右足の切断手術が大阪府病院で行われたが、この地で逝去した。  
大阪市中央区法円坂2
- 旧陸軍第四師団司令部庁舎**  
明治初年以來、大坂城には大坂陸軍所(1869)、大阪鎮台(1871)、陸軍第四師団(1881)が置かれ、陸軍の重要拠点であった。この庁舎は昭和6年(1931)に大阪市の寄附によって天守閣とともに建てられた。現在のミライザ大阪城。  
大阪市中央区大阪城1
- 大阪城天守閣付近に残る空襲被害跡**  
昭和20年(1945)、大阪は軍司令部と軍需工場を擁する大阪城を標的に8度の空襲を受けた。天守閣西南隅と東北隅には8月14日に投下された1トン爆弾、山里曲輪の石垣には機銃掃射の痕跡が残る。  
大阪市中央区大阪城1
- 大阪砲兵工廠跡**  
明治3年(1870)に大阪城青屋口門内に設置された官官の軍需工場。同12年からこの名で呼ばれた。「兵器独立」を目標に、東アジア最大の軍需工場に発展し、山田寛(タイキ)創業等を輩出したが、大坂大空襲で壊滅した。  
大阪市中央区大阪城2・3



### 参加者の声

見慣れているような所なのに、新たな発見があり楽しかったです。適塾講座と関係しているの、実地と共に理解が深まりました。

事務職員H▶ 雨の日は湿気で適塾の雨戸が重くなります。木造住宅ならではの発見でした。

事務職員Y▶ 6月の大地震の時は適塾に急行しました。耐震補強のおかげで傷は浅く、ほっと安心。